

8月16日（水） 総務文教常任委員会

- 調査件名
- 広野駅周辺開発について
- 給食センターの改修について

広野駅周辺開発

総務文教

● 駅東側住宅団地販売
住宅団地の販売方法は、当初計画では住宅メーカーが区画単位で宅地を購入し、宅地と建物をセットにして個人に販売する仕組みを考えていたが、住宅メーカーの投資動向を考慮し、個人がパナソニックホームズ（株）から土地を購入し、好きな住宅メーカーに家を建ててもらおうといったこともできるような方向で話を進めているとのことでした。

● 駅舎改修
町が発注する駅交流施設は構想段階や基本設計においてJR水戸支社の担当が協議に入っており、合意形成の中で進めており、JR側の条件は全てクリアになっているとのことでした。

総務文教

給食センターの改修

● ワンウェイ動線
ワンウェイ動線では、調理員がずっと同じ担当箇所にいるものではなく、非汚染作業区域（調理室、配膳室など）、汚染作業区域（下処理室、計量室など）の同区域内での行き来は問題ない。

● 見学通路・展示企画
広野町の児童は朝食摂取率が9割と非常に高いが、偏食が多いようである。施設に保護者を呼んで、給食の試食会やフードモデルの展示など、児童・生徒の時にしっかりと身体をつくってもらい、将来に渡って町のお達者度が上がるように検討していきたい、とのことでした。

委員会報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

8月17日（木） 産業厚生常任委員会

- 調査件名
- 農林業の振興について
- 町の道路行政について
- 町の水行政について

農林業の振興

産業厚生

● 農地中間管理事業
現在の契約面積は畑併せて376haのうち109haで29・1%、地域集積協力金の総交付額は2543万円となっている。相双地区においては契約率7割を目標にしているとのことでした。

● 新規就農者支援
本年4月から営農開始した新規就農者は今後3年間、国の支援で年間150万円支給されるほか、町独自の収入補填や家賃補助を利用する予定となっている。

● 二ツ沼直売所
商工会を通じて出店者を募ったところ、1事業者から応募があり、野菜以外の飲料水や卵納豆等を販売する方向で進めている。

● 森林再生事業
全体計画1159haのうち令和7年度まで約40%の完了見込みであり、令和8年度以降の事業継続を要望しているが、全体完了まで13年かかると見込んでいるとのことでした。

● ぶどう栽培
ぶどうを町の特産品とするためには、品質を安定化し同じ規格や糖度のぶどうを生産すべきであり、ぶどう栽培に関する支援について

町の道路行政

産業厚生

● 道路の安全確認
パトロールを週2回実施しており、道路の舗装面から4・8mまでの建築限界と言われ空間に倒木等が突出しないよう管理をしている。

● 町道萱平線
福島県方法務局の調査で判明した長期相続登記未了地の用地取得について、現在、司法書士に相談して、時効取得の方法で対応できないか話をしているとのことでした。

町の水行政

産業厚生

● 水質調査
飲み水は水道企業団で検査を実施している。工業排水は年2回、各事業所で使用する薬剤が流出していないか町で検査を実施しているほか、公害防止協定に基づく自主点検の報告を町に提出いただいており、両方異常はないとのことでした。

● 河川の危険降水量
河川の水量は雨の降り続ける時間や強弱の影響により場所があり、一概に降水量何mmだから氾濫すると言うのは難しい。浅見川の場合は毎時50mmと言われているが、本当にそれで氾濫するかは言えないとのことでした。